

首都機能バックアップ構造の構築に関する取組について

1 平成24年度の取組状況

○経済界との連名による「関西での首都機能バックアップ構造の構築に関する意見」の提出（平成24年6月20日）

○関西での首都機能バックアップ構造の構築に向けての検討

- ・内閣府や国土交通省における検討状況等についての情報収集
- ・首都機能バックアップについての検討・調査について府県市と意見交換
- ・関西経済連合会等との首都機能バックアップ構造構築のための情報交換（意見交換・セミナーへの参加等）

○「首都機能バックアップ構造の構築に関する調査」の実施

関西経済連合会及び大阪湾ベイエリア開発推進機構と連携し調査を行う。
関西広域連合としての調査については以下のとおり。

【調査の目的】

関西でのバックアップ構造の構築を検討するために必要な施設・設備等の具体的調査・検討を行い、首都機能バックアップに係る関西の優位性や具体的な手法等を提案する。

【調査の手法】

公募型プロポーザルにより、三菱UFJリサーチ&コンサルティングに調査委託

【調査の内容】

(1) バックアップすべき業務の範囲の整理

- ・東京圏において首都中枢機能の継続が不可能になった場合を想定し、バックアップすべき業務の範囲を整理する。
- ・各府省の業務継続計画等の資料の活用や、必要に応じ、関係省庁や関係機関、有識者等に対し、ヒアリング、現地調査等を行う。

(2) バックアップすべき業務の実施に必要な資源の調査・検討

① 要員の検討

- ・バックアップに係る業務担当職員や支援要員の確保
- ・民間サポート要員の確保

② 施設・設備の調査

- ・バックアップすべき業務に必要な施設、設備等の詳細調査
- ・東京からの要員、国会議員等の宿泊、アクセス等の確保

③災害協定・連携体制の調査

- ・公共と民間の災害協定の締結状況
- ・災害発生時における府県市の連携体制の現状と今後の予定

(3)上記を踏まえた関西におけるバックアップの優位性、具体的な手法、シミュレーション等の提案

- ・関西にしかない施設、機能など他地域に比べた関西の優位性を整理するとともに、いくつかの省庁等を抽出し、関西の持つ（国・）府県市・民間を含めた資源等のポテンシャルを生かした首都機能バックアップを実施するため、必要な体制の整備や手法等、具体的なシミュレーションを行う。

○国の検討状況や今年度の調査結果を踏まえた国への提案について検討

2 今後のスケジュール

- | | |
|---------------|---|
| 平成 25 年 1 月上旬 | 調査結果の中間とりまとめ |
| 1 月下旬 | 広域連合委員会 <ul style="list-style-type: none">・ 中間とりまとめを踏まえた国への提案について |
| 2 月中 | 経済界と連名による国への提案 |
| 2 月末 | 調査結果報告（仮納品） |
| 3 月上旬 | 調査結果を踏まえた府県市による検討 |
| 3 月下旬 | 広域連合委員会 <ul style="list-style-type: none">・ 調査結果及び今年度の検討結果について報告 |